

琉球大学学術リポジトリ

『日本東洋文化論集』 総目録(創刊号から第20号)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学法文学部 公開日: 2021-12-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/32584

『日本東洋文化論集』総目録（創刊号から第20号）

創刊号（上村幸雄教授退官記念号） 1995年3月

上村幸雄教授退官記念号の刊行にあたって	岡本恵徳
上村幸雄教授の履歴・著書論文目録	
プレテクストとの対話—桐壺巻・覚書	大胡太郎
「死の棘」論ノート	岡本恵徳
『趣味』と沖縄の投稿者たち—沖縄近代文学資料発掘7	仲程昌徳
八重山歌謡における人物描写の方法	玉城政美
資料紹介『儀衛正日記』	池宮正治
翻刻資料『四知堂詩集』	上里賢一
佐喜真興英収集のまじない資料をめぐって	山里純一
琉球辞令書の一覧表と収集現況	高良倉吉
劉（独孤）氏研究	長部悦弘
鹿児島県大島郡瀬戸内町諸鈍方言のフォネーム（上）	狩俣繁久

第2号 1996年3月

組踊の作者は正しく伝えられたか	池宮正治
首里城正殿の大庫理御差床高欄の復元をめぐる問題点	高良倉吉
機能文法の基礎—『機能文法の理論』1987・「序説」より—	A・B・ボンダルコ（訳：佐藤里美）
鹿児島県大島郡瀬戸内町諸鈍方言のフォネーム（下）	狩俣繁久

第3号 1997年3月

解体される犯罪小説—川端康成「それを見た人達」をめぐって	新城郁夫
胞衣について	山里純一
北朝士大夫通婚関係表	長部悦弘
中国・台湾における「吼えろ中国」上演史	星名宏修
—反帝国主義の記憶とその変容	

〔南洋文学の中の沖縄人像2〕土人の床下に寝ている沖縄人 仲程昌徳
—能伸文夫の見た沖縄人たち—

第4号 1998年3月

『琉球大歌集』と『南苑八景』—補完と全貌— 池宮正治
〔南洋文学の中の沖縄人像5〕太平洋は沖縄女性を悲しませる 仲程昌徳
—安藤盛『南洋記』の中の沖縄人たち
『正音切韻指掌』と『正音再華傍註』—編者・莎彝尊の正音観— 石崎博志
名詞述語としての「することだ」 佐藤里美

第5号 1999年3月

「噫急如律令」考 山里純一
〔南洋文学の中の沖縄人像7〕何処へ行くにも蛇味線持って 仲程昌徳
—古田中正彦『椰子の蔭』の中の沖縄人像
毛有慶『竹蔭詩稿抄』(資料紹介) 上里賢一
第一次尖閣列島保全運動について 赤嶺守
宮古諸方言の動詞「終止形」の成立について 狩俣繁久

第6号(岡本恵徳・金城正篤両先生退官記念) 2000年3月

思い出すままに……。 岡本恵徳
岡本恵徳先生略歴・研究業績
去るにあたって 金城正篤
金城正篤先生略歴・研究業績
組踊に関する資料三件 池宮正治
詩文から見る林世功の行動と精神 上里賢一
ちねんせいしん『人類館』論—他者化をめぐる言葉の闘争 新城郁夫
『羽地仕置』に関する若干の断章 高良倉吉
冠船貿易からみた琉球王国末期の対清外交 豊見山和行
「旅の手帖から」と「章魚木」 仲程昌徳

—中島敦の「南洋もの」新資料紹介

八重山歌謡に見える植物	山里純一
琉球大学法文学部国語国文学科／史学科関係略年譜	
「ものだ」の機能	佐藤里美
奄美沖縄方言群における沖永良部方言の位置づけ	かりまたしげひさ
于氏研究	長部悦弘
クラブロートの琉球語研究について	石崎博志
清代の琉球漂流民に対する賞賚品について	赤嶺守
—福州における賞賚（加賞）を中心に	

第7号 2001年3月

首里城の舞台に供された組踊と知られざる組踊	池宮正治
『月刊文化沖縄』とその時代	仲程昌徳
「外国語による琉球語研究資料」	石崎博志
および「琉球における官話」文献目録	
漢語資料による琉球語研究と琉球資料による官話研究について	石崎博志
「血液」の政治学—台湾「皇民化期文学」を読む—	星名宏修
「日本東洋文化論集」既刊（創刊号～第六号）総目録	

第8号 2002年3月

『南洋情報』とその時代	仲程昌徳
毛起竜（職名盛命）『思出草』—翻刻と注釈	池宮正治
八重山の床の間の香炉について	山里純一
MVSEVM SINICVM における方言記述—文法記述を中心に	石崎博志

第9号 2003年3月

「ひめゆり」の読まれ方—映画「ひめゆりの塔」四本をめぐって	仲程昌徳
『おもろさうし』にあらわれた異国と異域	池宮正治
石敢當覚書	山里純一

宇文氏研究

長部悦弘

郷土・翻訳・方言—井伏鱒二「朽助のみる谷間」論

新城郁夫

中国語の可能補語

伊藤さとみ

第10号 2004年3月

おもろの表現—適合調和する讃歌

池宮正治

奄美喜界島の古琉球辞令書について

高良倉吉

演劇革新への胎動—「時花唄」をめぐる

仲程昌徳

危機言語としての琉球語の文法研究の課題

かりまたしげひさ

琉球の漢語語彙におけるオ段長音について

石崎博志

中国語のロバ文における Wh 要素の性質

伊藤さとみ

第11号 2005年3月

琉球国王の神号と『おもろさうし』

池宮正治

位牌と遺骨—二つの「出郷作品」をめぐる

仲程昌徳

沖縄文学論の(不)可能性

新城郁夫

—「沖縄文学フォーラム 一九九六」批判

『南苑八景』の羈旅歌の構造

前城淳子

沖縄県宮古島平良方言のフォネーム

かりまたしげひさ

現代中国語における形容詞述語文

伊藤さとみ

米軍統治下 A サインパーの変遷に関する一考察

小野沢あかね

—女性従業員の待遇を中心として—

第12号 (池宮正治先生退官記念号) 2006年3月

琉球文学四十年

池宮正治

池宮正治先生略歴・研究業績

『おもろさうし』における靈力の諸相と表現—靈力は不可視か

池宮正治

憧憬と忠義と暴力と—ペリー来航と沖縄の作家

仲程昌徳

琉歌歌語「雨」をめぐる

前城淳子

程順則の父と子—程順則の情愛と苦悩	上里賢一
日本語を内破する—又吉栄喜の小説における「日本語」の倒壊—	新城郁夫
近世末近代初頭の琉球における模合請取証文について	高良倉吉
琉球の靈籤について	山里純一
戦後沖縄における A サインバー・ホステスの ライフ・ヒストリー	小野沢あかね
翻刻資料 Barcelona 大学蔵 "Arte de la lengua chin cheu"	石崎博志
名詞句述語「N+人だ」の構造	佐藤里美
琉球語の終止形 —沖縄謝名方言と沖縄安慶名方言	かりまたしげひさ, 島袋幸子
トゥバラーマ (恋歌) の分類	玉城政美

第13号 2007年3月

物語歌謡における類歌の構造分析について	玉城政美
琉球大学附属図書館蔵『琉歌輯』—翻刻と解説	前城淳子
ハワイの琉歌—「ハワイ琉歌史」試論	仲程昌徳
八重山歌謡に謡われた星	山里純一
北魏尚書省小考—録尚書事・尚書令・尚書左右僕射に関して—	長部悦弘
中国語における条件文—「如果」と「无论」の比較分析—	伊藤さとみ
沖縄方言のとりたてのくつつきと かかりむすび	かりまたしげひさ, 島袋幸子

第14号 2008年3月

「首里城明渡し」小論	仲程昌徳
八重山歌謡に見える動物	山里純一
沖縄県名護市幸喜方言の名詞の格=とりたて —ga 格、nu 格、ハダカ格、ja のとりたて形—	かりまたしげひさ

第15号(仲程昌徳先生退官記念号) 2009年3月

仲程昌徳先生略歴・研究業績

沖繩戦をめぐる言説—「白い旗」の少女をめぐる—

仲程昌徳

琉歌<旅歌>の諸相

前城淳子

久高島の<名付け>考

赤嶺政信

[資料紹介] 金良宗邦文書『観音靈籤』

山里純一

Francisco Diaz の『漢語・スペイン語辞典』

石崎博志

翻刻、漢語同定、スペイン語訳—1—

沖繩県今帰仁村謝名方言の

島袋幸子, かりまたしげひさ

アスペクト・テンス・ムード

一語文的な名詞文の意味・機能

佐藤里美

北魏孝荘帝代爾朱氏軍閥集団再論(1)

長部悦弘

—王都—覇府体制を焦点にして—

今帰仁間切に関する辞令書の紹介

高良倉吉

トーガニ<恋歌>の分類

玉城政美

第16号(上里賢一先生退職記念号・玉城政美先生追悼号) 2010年3月

退職するにあたって—さよなら、そしてありがとう

上里賢一

上里賢一先生略歴・研究業績

玉城政美先生略歴・研究業績

民俗学の方法論についての覚書—民俗と政治権力をめぐって—

赤嶺政信

『四本堂家礼』に関する基礎的考察

山里純一

奄美の古志辞令書の分析

高良倉吉

北魏孝荘帝代爾朱氏軍閥集団再論(4)

長部悦弘

—王都—覇府体制を焦点にして—

徐葆光『中山傳信録』の寄語と琉球語について

石崎博志

南琉球方言における同化と異化

かりまたしげひさ

第17号 2011年3月

- 伊波普猷文庫蔵『琉歌集 春の部』—解説と翻刻— 前城淳子
今帰仁掟および北谷掟宛の古琉球辞令書について 高良倉吉
琉球語におけるナ行エ段音の変遷 石崎博志
モーダルな文のタイプと焦点化助辞（おぼえがき） かりまたしげひさ

第18号 2012年3月

- 歴史のなかの民俗社会 赤嶺政信
—久高島の社会組織と祭祀的世界の研究—（要旨）
「ソロの驟雨」と「黒ダイヤ」をめぐって 仲程昌徳
—インドネシアへの進駐・再訪・居住
日本における方言学と言語地理学 上村幸雄
沖縄県名護市幸喜方言の擬声擬態語 かりまたしげひさ
両先島役人の上国に見る首里城 高良倉吉

第19号（高良倉吉先生退職記念号） 2013年3月

- 高良倉吉先生略歴・研究業績
新進作家の自負と苦悶—宮城聡書簡、昭和九年～昭和十八年 仲程昌徳
琉歌に歌われた「老い」 前城淳子
組踊台本は如何にして筆写されてきたのか 大城學
琉球官話課本における語彙の分類方法 金城ひろみ
—『琉球官話集』「五字官話」を例に
万葉仮名の前と後 上村幸雄
アグノエル語彙研究序説 附アグノエル論著目録 石崎博志
久高ウミンチュの歴史的展開 赤嶺政信
戦後中華民国における対琉球政策 赤嶺守
—1945年～1972年の琉球帰属問題を中心に—
琉球宮古島野原方言の間接的エヴィデンシャルティ かりまたしげひさ
琉球史ゼミ 19年間の記録 高良倉吉

第20号 2014年3月

姜舜『なるなり』論

呉世宗

一民衆、朝鮮部落、言語戦略としての二つの「翻訳」

ハワイの捕虜収容所—嘉陽安男『捕虜たちの島』をめぐって

仲程昌徳

尚家文書「田地廻勤首尾」について—紹介と史料翻刻(抄)—

豊見山和行

自発表現の文

村上三寿

北琉球・名護市幸喜方言の可能表現の文

かりまたしげひさ

正音資料の特質

石崎博志